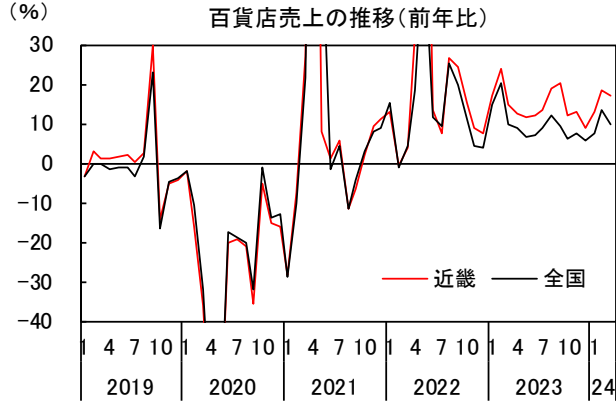
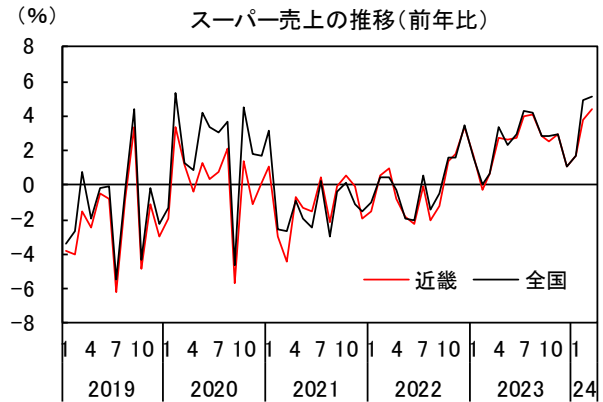


関西の景気トピックス【消費関連（24年3月）】

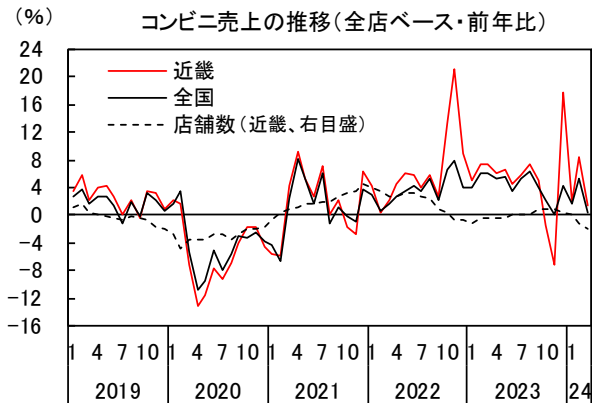
- 24年3月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス17.3%と30か月連続の増加となった。インバウンドの増加や、株高による高額品の販売好調などで、前年比で2けたの増加が続いている。スーパー売上も3月は前年比プラス4.4%と13か月連続の増加となった。主に値上げ効果によるものであり、食料品を中心とした値上げの動きが売上の増加につながっている。
- コンビニ売上（経済産業省）の3月は、全店ベースで前年比プラス1.5%と4か月連続の増加となった。百貨店と同様、インバウンドの増加や値上げ効果で売上が伸びたとみられる。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の3月は、前年比マイナス15.4%と12か月連続の減少となった（3か月移動平均）。内訳としては、今年に入って分譲住宅の着工が大きく減少し、全体を押し下げる形となっている。
- 各業界で売上が前年を上回る動きがみられるものの、国内客の間では節約志向が強まっており、生活必需品を中心に先行きへの不透明感は強まっている。



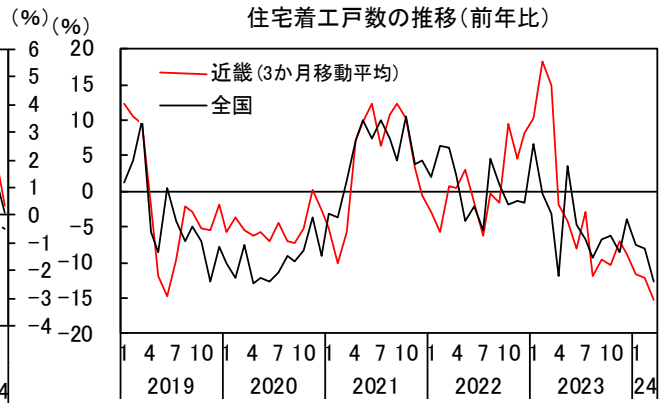
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」